

第16回
東京フィルメックス
スペシャル・メンション

第45回
ロッテルダム国際映画祭
正式出品作品

クズと クズと クズ

脚本・監督・主演 奥田庸介

板橋駿谷 岩田恵里 大西能彰 カトウシンスケ 芦川 誠

泉水美和子 中上サツキ 脇田敏博 竹井直道 片倉わき 小柳美李 亀山スーザン久美子 小橋正佳 山崎皓司 飯田 芳 栗山英宜

プロデューサー：奥田大介 小林 岳 福田彩乃 共同プロデューサー：黄田脩民 中村安次郎 撮影：矢川健吾 編集：小野寺拓也 録音：根本飛鳥 井手翔平 伊豆田廉明 照明：松永光明 吉永良芽生 山崎賢児
小道具：黒田竜太郎 美術：武田明子 須藤 彰 ヘアメイク：横山めぐみ 高田 瑛 音響効果：田中 俊 整音：山田良平 制作：山崎 通 寺田菜摘 秋場清之 坂口天志 スチール：山崎伸康 渡辺茉莉 助監督：福村豪馬 嶺 豪一
製作：映画蛮族 配給：アムモ98 ©2015映画蛮族 2015年 / 日本 / 141分

生きよ、墮ちよ。



スキンヘッド
卑劣な男。
 女を騙して金を巻き上げる
 流されるように奈落の底に落ちる
 ストレート過ぎて歯止めの効かない
 リーゼント
前科者。

究極のバカどもが蠢く、純粹無垢な暴力映画!

口当たりのいい映画ばかりが氾濫する現在の日本映画界、そして閉塞感漂う“今”という時代に唾を吐きかける強烈な映画がここに誕生した。女を拉致監禁し、強請(ゆすり)で生計を立てる卑劣な男。しかしヤクザの女に手を出したばかりに、逆に恐喝された男は新たな獲物に目をつける。それはカタギになろうと必死にもがく前科者の恋人だった……。真逆さまに転がり続ける彼らの運命。出口の見えない闇の中で、果たして生き残れる者はいるのだろうか――?

監督は『青春墓場』三部作(08・09・10)が高く評価され、最終作『青春墓場～明日と一緒に歩くのだ～』は、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭オシアター部門グランプリを受賞。若干24歳にして『東京プレイボーイクラブ』(11)で商業映画デビューを飾った異才・奥田庸介。しかも主演のスキンヘッドの男を自ら演じ、圧倒的な存在感を見せる。その憑依ぶりは鬼気迫るものがあり、本番中にビール瓶で自ら頭をカチ割り、病院送りになって撮影が中断したほど。この通常の映画づくりを無視したような規格外の熱量に誰もが度肝を抜かれ、第16回東京フィルメックスではスペシャル・メンションを授与された。

直情バカのリーゼント男には、『青春墓場』三部作時代から奥田映画となじみの深い板橋駿谷。その恋人で理不尽な状況を必死に生きる女には、これが本格的な女優デビューとなる岩田恵里。さらに北野武作品や多数のTVドラマで活躍する芦川誠が、3人の運命を掌で転がすヤクザ役で出演。

叫び、泣きうめき、殴り合い、憤怒と慟哭を極限ぎりぎりまで突き詰めた果てに彼らが得るもの、そして失うものは……? 『クズとバスとゲス』は、私たちの常識やモラルを徹底的にゆさぶり、問いかけ直してくるだろう。



板橋駿谷 岩田恵里 奥田庸介 大西能彰 カトウシンスケ 芦川誠

プロデューサー：奥田大介 小林岳 福田彩乃
 撮影：矢川健吾 編集：小野寺拓也 録音：根本飛鳥 照明：松永光明
 監督・脚本：奥田庸介

製作：映画蛮族 配給：アムモ98 ©2015 映画蛮族
 2015年/日本/カラー/5.1ch/シネスコ/141分

<http://kuzutobusutoges.com/>

7.30 (土) より **ロードショー!**

特別鑑賞券 **1,400円** (税込) 絶賛発売中! ※当日一般 1,700円のところ

劇場窓口にて
 お求めの方に
 特製シール
 プレゼント!



ユーロスペース
 EUROSPACE

渋谷・文化村前交差点左折
 TEL.03-3461-0211
www.eurospace.co.jp

